

支援事例

商工会名	宇城市 商工会	氏名	草野千加子	情報開示の可否	可
支援テーマ	販路拡大・販路支援	題名	スムージーのテイクアウト専門店地域PR		
	持続化補助金				
	創業				

<支援企業の概要>

事業所名	㈱アーティカルアブリシエイト	従業員	0 人	創業/ 会社設立	創業日	2021年10月1日
業種	防犯カメラ小売業	うち家族従業員	0 人		業歴	3年5ヶ月

○企業概要

2021年10月畜産農家の監視カメラ設置販売を創業。営業先は主に熊本県、沖縄県を中心とした全国の畜産農家。分娩監視カメラとして販売を行っている。2024年7月スムージーなどのテイクアウト専門店「ころていーぬ」を出店。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

- （支援課題）事業計画を進めるにあたって使用できる補助金は何かとのことで持続化補助金の活用を行う（創業枠）
（短期計画）持続化補助金によるテイクアウト専門店事業への進出
（中長期計画）新事業の拡大
（現状分析）・強み→代表者の営業力。
・弱み→新規就農者の減少及び高齢化によるものと思われる農業事業者数の減少。
・売れ筋商品・顧客ニーズの把握：スムージー・クレミア・ブルーシールアイス、天草市への観光客（若い世代）
・競合する店舗等：国道266号線沿いにあるソフトクリーム饅頭店等

○支援内容および支援後の状況・効果

フェーズ1 創業して1年半ほどの事業所であるが、近年の新規就農者の減少、さらに防犯カメラは頻繁に買い替えるものではないため新規事業を展開し新たな収入確保を行うことが課題であった。そこで当事業者が考えたのは、デコポンをはじめとした柑橘類の生産が盛んな宇城市に事業所があるため、若い世代にも興味を持っていただけるように”映え”を意識したスムージー（凍らせた野菜やフルーツを砕いた飲み物）のテイクアウト専門店を出店することであった。

小規模事業者持続化補助金を活用することとしたが、創業して間もない事業所であり初めての補助金活用であるため専門家派遣を利用し事業計画書添削指導を行った。

（進捗・成果）

小規模事業者持続化補助金は採択を受けることができ、採択後は不動産会社をはじめとした各業者との意思の食い違いや水質問題等の予想外の問題が多く、思うようにことが進まなかった。フリーペーパーへの掲載は認知度向上のためであったが、それを見てInstagramを検索していただき、求人にも役立つという副産物を得ることができた。

○今後について（目標や課題など）

新規事業が始まって間もないため、まずは「ころていーぬ」の認知度向上と、リピーターがつくためには味だけではなく接客態度、他店との差別化なども必要だが、今回のフリーペーパーへの掲載効果があったため、不定期にでも掲載を続ければより販路の拡大が見込める。